



ごあいさつ

超高齢化・少子化に伴う人口減少社会に直面し、東京への一極集中が進む日本において、今、各都市に持続可能なまちづくりへの取組が求められています。

本市においても、新たな10年に向け、まちの未来を切り拓く力強い一歩を踏み出していかなばなりません。新時代「令和」が幕を開けたいま、わたしたちのまち四日市市が、いつの時代にあっても、多様な人権が尊重され、市民一人ひとりが十分能力を発揮でき、生きがいと希望を育める都市であり続け、そして、将来にわたり、市民の皆さんが豊かで幸せに暮らせる持続可能な都市となり、東海エリアにおける西の中核都市として存在感を示し、飛躍していくことが、大変重要であると考えます。

今回の総合計画では、まちづくりの最上位理念として、「ゼロからイチを生み出すちから イチから未来を^{イチ}四日市」を掲げています。四日市市が古くからものづくりのまちとして蓄えてきた、ゼロからイチ、すなわち無から有を生み出すちからは、本市が今後の変化の激しい時代における都市間競争に勝ち抜くために欠くことのできない財産です。市民・事業者の皆さんと行政とが一体となり、このちからを生かしたまちづくりを進めることによって、新たな未来を創り上げていくことができると確信しております。未来に向けたわたしたちのまちづくりへの決意を込めたこの計画を、ぜひご一読下さい。そして、市が一丸となり「オール四日市」で更なるまちづくりに取り組んでいきましょう。

最後に、シンポジウムやタウンミーティングなどにご参加いただいた市民の皆さま、そして策定に関してご尽力いただいた関係各位に対し、心から御礼申し上げます。

四日市市長 森 智広